

語構成と意味から見た外来語の借用形態

—外来語造語成分「ホーム (home)」を対象として—

王 雨

1. はじめに

外国語の語構成要素の中には、日本語に借用された後、日本語の形態素として造語機能を発揮するものがしばしば見られる。具体例としては、「オープンカー」「ゴールデンタイム」「サラリーマン」「ビッグマウス」などの下線部で示した外来語造語成分が挙げられる。これらの造語成分は本来原語では自立形式の形態素であるものの、外来語として取り入れられると拘束形式になる。このように、本稿の外来語造語成分とは、林 (2013:13) の定義に従い、外国原語では自立形式の語基であるものの、外来語としては自立性を失い、接辞に近い要素、造語成分になるものをいう。

外来語は、借用時に、「テレビ」「ホテル」「アルコール」などのような単語レベルで受け入れられるのが一般的であるが、外国原語では自立語である「home」などの成分は、日本語に入ると自立用法を失い、多くは合成語の要素として使用される。本稿では、造語力を持ち、〈家〉を表す外来語造語成分「ホーム」を取り上げる。

外来語造語成分「ホーム」は様々な構成要素と結合し、「アットホーム・ホームドラマ・老人ホーム」などの合成語を形成する場合が多い。そのため、例えば、以下の(1)の「家」を、(2)のように、「ホーム」に言い換えて使用することはない。

- (1) 「私は放課後に友達の家でよく遊ぶ」(作例)
 (2) ? 「私は放課後に友達のホームでよく遊ぶ」(作例)

外来語造語成分「ホーム」は既存の「家・家庭」という在来語があるにもかかわらず結合形式で多く借用されており、そのように外来語が借用される理由

を明らかにしたい。本稿では、外来語造語成分「ホーム」を分析対象として、その語構成的な性質や意味のあり方を調査し、またそのあり方は外来語造語成分の借用要因とどのように関わっているのかを明らかにすることを目指す。

2. 先行研究

日本語の語構成要素に関する考察としては、和語や漢語に対する記述が盛んになされてきた（斎藤（2004）、中川（2010）、野村（1978、1998）、山下（2008、2011）など）。一方で、外来語の語構成要素に着目して分析している研究は限られている。研究対象の中心に取り上げているものとしては、村中（2012、2014）、Hamlitsch（2020）、林（2013、2015）が挙げられる。

村中（2012、2014）は、日本語において抽象的な意味を持つ接尾辞「ーチック」と「ーライク」の二つを取り上げ、接尾辞「ーチック」と「ーライク」の使用度数、前接要素、「チック」「ライク」によって形成されたナ形容詞が修飾するもの、出現分野といった、「ーチック」と「ーライク」の使用状況と造語力を明らかにした。村中（2012、2014）は外来語の使用実態に着目しているが、語構成的な性質と意味の分析については更なる考察が必要である。

Hamlitsch（2020）は認知言語学のフレーム意味論および構文形態論の観点から、借用語は和語・漢語が持たない意味を表すように特化したという意味の特殊化を考慮し、日本語借用拘束形態素「ジャック」「ロス」「タイム」の構文ネットワークを考察した。Hamlitsch（2020）は、借用語が固有の意味極を持ち、類義語にとってかわるのではなく、それらと共に特殊化すると主張している。本稿では、認知言語学の観点と異なる語構成的な性質と意味の側面から分析する。

林（2013）は、外来語成分が日本語に借用される際、外国原語では自立形式である「ホーム」などの成分には、日本語に入ると自立用法を失い、「マイホーム」などのように結合形式になってしまうものがあると指摘している。しかし、個別的に造語成分の「ホーム」の考察を行ってはいない。また、林（2015）は外来語「ミニー」と「プチャー」を対象に、外来語接頭辞の類義性と語構成にはどのような関わりがあるかを考察した。しかし、原語では自立語である「ホーム」は、外国原語においてもそもそも接辞である「ミニー」や「プチャー」などの外来語接辞のようなものとは、本質的に相違するところがある。そこで、本稿では、造語力を持ち、かつ日常的によく使用されている「ホー

ム」を対象として、「ホーム」の語構成的性質および意味を分析する。

3. 研究方法

現代日本語における「ホーム」の使用実態を調べるために、国立国語研究所『現代日本語書き言葉均衡コーパス』(以下BCCWJと略す)を資料として、検索アプリケーション『中納言』により用例を収集した。「短単位検索」で、検索対象を「キー：キーの条件を指定しない、語彙素「% ホーム」」、「前方共起1：キーから「1」語、キーと結合して表示、語彙素「% ホーム」」として検索した。その結果、11501例が検出されたが、固有名詞(三井ホーム)、ローマ字(go home)、「プラットホーム(platform)」のような同音異義語「ホーム(form)」などの表記を除くと分析対象は延べ語数9001語になり、異なり語数は164語(結合形式163語、自立形式1語)あった。収集した例のうち、8621例(95.8%)は単独で使われない結合形式であるが、延べ語数380例(4.2%)は単独で使われる自立形式である。以下、得られた合成語の語形を表1に示す。

表1 BCCWJにおける「ホーム」を有する合成語の語形

アットホーム	介護ホーム	介護付き終身利用型ホーム	休養ホーム
協同ホーム	クリスチャンホーム	グループホーム	軽費ホーム
自立援助ホーム	身体障害者自立体験ホーム	スイートホーム	生活ホーム
青少年ホーム	セカンドホーム	大規模ホーム	段ボールホーム
地域活動ホーム	地域交流ホーム	ディホーム	当ホーム
同ホーム	当該ホーム	特養ホーム	特別養護ホーム
ナーシングホーム	ぬくもいホーム	のぞみホーム	バックホーム
福祉ホーム	ふれあいホーム	婦人ホーム	フレンドホーム
ファミリーホーム	ホームアドバンテージ	ホームアンテナ	ホームアンドアウェー
ホームイン	ホームインテリア	ホームウェア	ホームAVサーバ
ホームエクササイズ	ホームエコノミクス	ホームエコノミスト	ホームエディション
ホームエリア	ホームエレクタ	ホームエレベーター	ホームエンターテイメント
ホームオフィス	ホーム開催	ホーム開幕戦	ホームガーデン
ホーム画面	ホーム側	ホーム球場	ホームクッキング
ホームグラウンド	ホームケア	ホームゲーセン	ホームゲーム
ホームコース	ホーム炬燵	ホームコミュニケーション	ホームコメディ

ホームゴール	ホームコンサート	ホームコントローラー	ホームコンピューター
ホームサーバー	ホーム最終ゲーム	ホーム最終戦	ホームサイト
ホームサービス	ホーム試合	ホームシアター	ホームシック
ホームジム	ホーム初戦	ホーム上	ホームシューレ
ホームショッピング	ホームスクーラー	ホームスクーリング	ホームスクール
ホームスタイル	ホームスタジアム	ホームスタジオリング	ホームスタンド
ホームスチール	ホームステイ	ホームストレート	ホームストレッチ
ホーム寸前	ホーム設定	ホームセキュリティ	ホーム戦
ホームセンター	ホームソーイング	ホームゾーン	ホームターミナル
ホームタマネギ	ホームタンク	ホームチーム	ホーム長
ホームデコレーション	ホームテレホン	ホームデンティスト	ホームディレクター
ホームドクター	ホームドラマ	ホームトリートメント	ホームトレード
ホームドレス	ホーム内外	ホームネットワーク	ホームバー
ホームバス	ホームパーティー	ホーム初勝利	ホームバンキング
ホームビジット	ホームビジネス	ホームビデオ	ホームビルダー
ホームプレート	ホームフレンド	ホームプログラム	ホームプロジェクト
ホームフォルダ	ホームベーカーリー	ホームページ	ホームベース
ホームベル	ホームヘルパー	ホームヘルプ	ホーム訪問
ホームポジション	ホームボタン	ホームマネジメント	ホームムービー
ホームメーカー	ホームメイド	ホームモード	ホームユーザー
ホームユース	ホームユニフォーム	ホーム用	ホームライフ
ホームラン	ホームランキング	ホームリザベーション	ホームルーム
ホームレンジ	ホームロイヤル	ホームローン	ホームロボット
ホームワーク	保養ホーム	マイホーム	モーターホーム
養護ホーム	老犬ホーム	老人ホーム	

4. 外来語造語成分「ホーム」の意味について

本節では、「ホーム」の意味を分析する。4.1 節では、辞書による「ホーム」の意味解釈を確認する。4.2 節では、「ホーム」を有する合成語の実例に基づき、「ホーム」の意味を分析する。4.3 節では、自立形式としての「ホーム」の意味を分析する。

4.1 辞書における「ホーム」の解釈

外来語造語成分が日本語として定着する際、意味用法がそのままで使用されるのか、もしくは変化を伴うのかについて、調査・分析が必要であると思われる。「ホーム」の意味を考察する前に、まずは『日本国語大辞典第二版』と英語辞書『研究社新和英大辞典第五版』に載せられている「home」と「ホーム」の解釈を確認する。

『日本国語大辞典第二版』の記述

[名]({英}home)(1)家庭。家。(2)保護者のいない子どもや老人、生活困窮者、また、矯正を必要とする人などを収容する施設。(3)故郷。故国。本国。(4)「ホームベース」に同じ。(5)「ホームグラウンド(1)」、また、「ホームゲーム」に同じ。

『研究社新和英大辞典第五版』の記述

n.1a. (生活の場としての) 家、うち、住まい b. 住まいのある場所、住所 c. 生家、実家 2a. 家庭 b. 家庭生活 3. (建物としての) 家、住宅 4a. 郷里、故郷、国もと b. 生国、本国、故国 c. (外地から見ての) 英本国、英国; 5a. 自分のうち「故郷」のように思える所; 憩いの場 b. (腰をすえて) 本領を発揮できる所、より所 6a. (困窮者などの) 収容施設、ホーム、宿泊所; 療養所、施療所 b. 「口語」精神病院 7 (動植物の) 生息地 8. (思想・制度などの) 発祥地、本元 9. (探検隊などの) 基地、本部 10a. 「遊戯」陣 b. 「野球」ホームベース、本塁 c. 「スポーツ」決勝点 11. 「ラクロス」a. ホーム「相手のゴールに最も近い攻撃地点; 二つある中の一つ」b. ホームプレイヤー 12. ホームグラウンドでの試合「勝利」
adj.adv.v (後略)

辞書の記述から、英語「home」は外来語の「ホーム」より意味が非常に多く、外来語としては新しい用法が見られないことが分かる。また〈家、家庭; 故郷; 本国; 収容施設; 決勝点; 本塁; 本拠地〉などのような意味を表す場合に、英語の意味を保とうとすることが分かる。さらに、英語から入ってきた後、形容詞、副詞、動詞としての意味と品詞性は失われる。「ホーム」が英語から日本語に入った際、意味の縮小が起り、英語と外来語の意味に相違が発生したことが分かる。

4.2 合成語における「ホーム」の意味

斎藤（2004:73）では「語構成要素の意味は幾つかの語の意味の共通部分として語の意味から抽出されるものであり、現実世界と直接関わるものではない」として、語構成要素の意味は合成語の意味から抽出されなければならないと指摘している。本節では、BCCWJから収集した合成語の実例に基づき、「ホーム」の意味を分析する。そして、結合形式163例（異なり語数）の「ホーム」を含む語を対象として分類した結果、「ホーム」の意味は主に以下の4種類に分けられる。

- ① a. 家、自宅、家族などの生活の場所；自家用（69例） b. 家（住宅）を拠点としてインターネットなどの通信手段を活用すること（14例）
- ② 発祥地・故郷・本国（2例）
- ③ 基準位置 a. 競技やスポーツの本拠地、本塁（33例） b. インターネットの最初のデータベース、スタート位置（10例）
- ④（困窮者などの）収容施設、孤児院、療養所（37例）

以下、各種類について見ていく。

① a. 家、自宅、家族などの生活の場所；自家用

- (3) 彼は部屋の反対側のホームバーへ行き、小さなクリスタルのタンブラーを手に戻ってきた。（『プリンセスに夢中』2003）
- (4) 若い人向きにはコミカルなものや、ラウンジウエアと言うのでしょうか、ホームウエアとナイトウエアを兼ねたようなものなど、いろいろある割に、高齢者向きのナイトウエアは、ガーゼの浴衣スタイルだったりするのですからガックリします。（『プラス思考の生き生き向老学』1996）

(3)の「ホームバー」は〈家にあるバーのような空間、家に設けた自家用のバーのこと〉という意味を表す。単独の造語成分「ホーム」は〈家（住宅）〉の意味を表すが、合成語における「ホーム」は〈自家用〉という意味になる。合成語の意味から抽出された「ホーム」には、単独の造語成分「ホーム」だけでは説明できない意味があることが分かる。(4)の「ホームウエア」は〈家庭で着

用するようなくつろいだカジュアルウェア」を指す。この「ホーム」は〈家庭で着用する〉という意味の他に、〈家にいるようにくつろげる状態〉も意味する。

「ホーム」は以上のような〈自家用〉、〈家にいるようにくつろげる状態〉という意味のほかに、〈大きくない、小型〉という意味も含む。例えば、以下の(5)のようなものがある。

- (5) 後はレタスマックスの予定です。ホームタマネギ：約六十球を埋めました、ほぼ発芽し大きくなっています (Yahoo! ブログ 2008)

(5)の「ホームタマネギ」は〈家庭で栽培するタマネギ〉の意味である。このタマネギは一般的なたまねぎより小さい。この「ホーム」は、〈大きくない、小型〉という意味も含む。このように、合成語を構成するときには、単独の造語成分「ホーム」にない意味も生まれたことが分かった。

b. 家（住宅）を拠点としてインターネットなどの通信手段を活用すること

- (6) 商品・サービスの情報を迅速かつ豊富に入手し、購入・配送を指示、さらには代金決済を行うといった一連の手順が居ながらにして可能となるホームショッピング、ホームリザベーション、ホームバンキング等へのニーズがあり、今後こうした分野が拡大していくことが期待されている。(『経済白書』1988)
- (7) ほぼ全国のどの電話回線からでもアクセスが可能となるパスワード方式が昭和六十三年7月に導入されたことや証券会社のホームトレードの普及等により需要が大幅に増大したため、元年9月末現在十一万八千二百二十一回線と著しく増加している。(『通信白書』1990)

(6)の「ホームショッピング」は〈インターネットを利用して自宅で買い物をすること〉、「ホームリザベーション」は〈インターネットを利用して自宅で予約すること〉、「ホームバンキング」は〈銀行の顧客サービスの1つで、通信サービスを使って自宅から銀行の残高照会や口座振込、振替をすること〉という意味である。(7)の「ホームトレード」は〈自宅から電話やパソコンを使って株式などの売買を行うこと、在宅取引〉という意味である。この「ホーム」

は(6)と同様に、「在宅」と言い換えることができ、〈家を拠点としてインターネットなどの通信手段を活用すること〉という意味である。

② 発祥地・故郷・本国

- (8) しかし鎌倉は私にとって親しい町で、子供のころから春休みや夏休みには必ず滞在していたので、ついに「ギンマクハナ」にはお目にかからなかったものの、ここはいつも自分のホームグラウンドのような気がしていた。(『私の古寺巡礼』2005)
- (9) こうして輸入インフレがホームメイドインフレにつながるのを防止し、国内需要デフレーターが上昇したといっても、輸入物価上昇の範囲にとどまり、経済の安定性が維持されたのである。(『経済白書』1980)

(8)の「ホームグラウンド」は〈自分の故郷〉という意味である。この「ホーム」は意味①の〈家〉と異なり、〈家族で住む住居〉という〈故郷〉の意味を表す。(9)の「ホームメイドインフレ」は〈物価上昇要因が国内で発生したもの〉をいう。この「ホーム」は「外」と対立し、「内」の概念である〈本国〉を意味する。

ここで注意したいのは、「ホームグラウンド」「ホームメイド」はそれぞれ意味に跨ることがある。例えば、以下(10)(11)のようなものがある。

- (10) 彼がヤンキースのホームグラウンドに立ったときの初打席はなんと満塁でした。初打席で満塁を迎えるなどということは滅多にないことです。(『めざせ！健康美容師』2004)
- (11) 豆をたくさん食べていれば、いつだって健康。肉なんて口にしなくたっていいぐらいさ。水煮缶詰を利用してもけっこう。けれど、お味はやはりホームメイド仕上げの豆がずっと上。(『素パスタがおいしい』2003)

(10)の「ホームグラウンド」は〈自分の本拠としているグラウンド〉という意味である。この「ホーム」は〈本拠地〉という意味を表す。(11)の「ホームメイド」は〈自家製であること・家庭で作られたもの〉という意味である。この「ホーム」は〈家で何かをする〉という意味①の意味である。この2例は複数の意味があるため、合成語(163例)を統計する際、1回として数える。

③ 基準位置

a. 競技やスポーツの本拠地、本塁

- (12) 秋から冬にかけてのサッカーシーズンともなれば、日曜日ごとにホームアンドアウェー方式で各地で試合が行なわれる。(『イタリアの社会』1999)
- (13) コーチはホームベースから1塁手にいろいろな方向のゴロをノックする。(『New 野球テクニク』1989)

(12)の「ホームアンドアウェー」は〈主にサッカーなどのスポーツにおいて、2チームがそれぞれのホームタウンで1度ずつ計2回対戦する方式〉という意味である。この「ホーム」は競技やスポーツの分野で使われ、〈本拠地〉の意味である。(13)の「ホームベース」と「ホーム」は〈野球の本塁〉の意味である。〈本拠地〉と〈本塁〉には、それぞれ「アウェー」と「他の塁」に対する基準的位置という意味もある。

b. インターネットの最初のデータベース、スタート位置

- (14) Palm Computing の場合、標準設定ではアプリケーションボタンの一番右のボタンが[手書きメモ]に割り当てられているため、同ボタンで[メモ帳]が起動するようにするためには、ホーム画面の[環境設定]で設定の変更が必要です。(『Palm & ATOK Pocket 徹底活用ガイド』2001)
- (15) 九十四年十月、ホワイトハウスがインターネット上にホームページを開設、クリントン一家の飼い猫「ソックス」の写真と鳴き声に人気が集まり、インターネットへの親しみを加速した。(『入門インターネット・ビジネス』1996)

(14)の「ホーム画面」はインターネット上、スマートフォン、パソコンなどにおいて、〈複数のページ(画面表示)が用意されている中で最も基本となる画面のこと〉である。(15)の「ホームページ」は〈Google chrome やIE、Edgeなどのブラウザを立ち上げた際に最初に表示されるページを指すが、ここではWebサイト全体〉の意味である。(14)(15)の「ホーム」はIT用語であ

り、〈基本となるところ〉という基準的位置を意味する。

④ (困窮者などの) 収容施設、孤児院、療養所。

- (16) ただ社会的施設と医療施設の見直しの中で、最近は、老人ホームにおいて在宅サービスを受ける可能性や、医療設備をもった老人ホームを建設すること等が試行されている。(『フランスの社会保障』1989)
- (17) 藍綬褒章も受けている。宮内省からの御下賜金は遠く「大連育児及び婦人ホームにまで及んだ。(『山室軍平』1986)

(16)の「老人ホーム」は〈介護施設のうち、高齢者向けの介護サービスがある施設の総称〉の意味である。この「ホーム」は〈収容施設〉という特定の意味である。(17)の「婦人ホーム」は〈女性向けの支援施設〉の意味である。この「ホーム」は(16)と同様に〈収容施設〉という特定の意味である。「ホーム」が施設として使われる際、施設の中に所属対象は高齢者だけではなく、生活サポートを必要とする人達(子供、青少年、婦人など)も含まれる。

ここで注目したいのは、「特別養護老人ホーム」「母子休養ホーム」「痴呆性高齢者グループホーム」のような例が多く見られることである。これらは「老人ホーム」「休養ホーム」「グループホーム」の前に複数の単語が結合して長い修飾語が付くものである。例えば、以下(18)(19)のようなものがある。

- (18) わが国でも特別養護老人ホーム老人保健施設は、現行の病院よりゆったりとした空間を確保するよう義務づけられていますが、老人病院でもこれは不可欠です。(『寝たきり」老人はつくられる』1991)
- (19) 住宅街にとけ込むように「グランダム目白・新宿」はある。六十九～九十九歳の三十四人が暮らす介護付き有料老人ホームである。(『AERA (アエラ)』2003)

(18)の「特別養護老人ホーム」と(19)の「介護付き有料老人ホーム」は、「老人ホーム」の前に複数の修飾語が結びつき、「老人ホーム」の種類を詳しく説明している。この長い修飾語と結合し構成される「○○老人ホーム」は「老人ホーム」の一種類であるため、その下位分類であると考えられる。用例を収集する際には、「老人ホーム」としてまとめる。

ここまで、合成語における造語成分「ホーム」の意味を把握した。「ホーム」には〈家〉を表す基本義に加えて、〈野球の本塁やスタート位置や家庭的な福祉施設〉を表す派生義がある。多義語「ホーム」の意味間の関係には「基本義→派生義」という意味拡張パターンが認められる。それと類似する特性を持つ別の領域の事物や組織に転用され、メタファー的派生義を生み出すということである。例えば、「ホーム」はスポーツ・IT・収容施設領域でよく使われる。そこでは在来語「家・家庭」とは違う機能を分担している。また、意味の類推により、主体を変えて「老人ホーム」、「青少年ホーム」、「婦人ホーム」「老犬ホーム」などの単語を形成しており、生産力が高いといえる。

4.3 自立形式としての「ホーム」の意味

「ホーム」は結合形式で多く使われるが、自立形式もある。実際に BCCWJ を調べてみると、以下の (20) (21) のような自立形式の例がある。

- (20) 老人福祉法から見ると、四つの老人ホームの形態があるがぼけ老人が入居できるのは二つのホームである。(『午後の電話はぼけはじめ』1997)
- (21) 当たって欲しい。今日はホームなのにアウェー気分の松本開催。行くまでが大変。(Yahoo! ブログ 2008)

(20) は、「老人」と「ホーム」が結合した「老人ホーム」のような結合形式「○○ホーム」と、単独で使われる「ホーム」の自立形式の例である。この「ホーム」は、自立形式・結合形式のどちらであるかに関わらず、〈収容施設〉の意味である。「ホーム」が〈収容施設〉の意味で、かつ「老人ホーム」の省略形となっている場合、「ホーム」は自立できると考えられる。(21) では、自立形式「ホーム」は、サッカーや野球などのスポーツにおいて、アウェー (away) と対比して使われる〈本拠地〉の意味である。

このように、外来語造語成分「ホーム」は拘束形式であるといっても、必ずしも自立しないわけではない。そこで、意味と自立性の問題を明らかにするために、形態と意味との関わりを詳しく考察する必要があるのではないかと思われる。本節では、外来語が日本語として定着するときに、自立形式として使われる場合と使われない場合では、それぞれどのような意味があるのかを検討する。調査結果を以下の表 2 のように示す。

表2 「ホーム」自立形式の意味

自立形式の意味	延べ語数
本拠地	189
収容施設	132
本塁	29
スマートフォンやタブレット型端末などの待ち受け画面	25
故郷	2
家	1
ホームページ	1
家庭	1
合計	380

表2を見ると、収集したデータにおいて、「ホーム」が単独で使われる自立形式の例は380例(4.2%)ある。「ホーム」は、スポーツで〈本拠地・本塁〉、介護で〈収容施設〉、ITで〈基準位置〉、日常生活で〈家・家庭〉の意味で使われれば、自立語になる。自立語の「ホーム」は、野球の〈本拠地・本塁〉、介護の〈収容施設〉という意味に多く集中している。一方、日常生活の〈家・家庭・故郷〉の使用数は少ないため、この意味はあまり使用されないようであるが、これは漢語「家庭」、和語「家」の定着度が高く、外来語には容易に変えられないためと考えられる。また、外来語の意味と形態の関係は簡単に論じられないが、少なくとも、複数の語の形から意味を類推し、ある部分を独立させて利用するということが起こっていたと言える。例えば、スポーツとITと介護の分野で語が多く生産されると、この複数の語の形からそれぞれ共通の意味が類推され、ホームが独立した形となる。「ホーム」は結合形式専用の造語成分ではなく、自立形式と結合形式には程度差があるといえる。

5. 外来語造語成分「ホーム」の語構成について

本節では、「ホーム」はどのような要素と結合するのかを見るため、結合語基の語種、品詞性、結合位置を調べる。

5.1 結合語基の語種

以下、「ホーム」の結合語基の語種を表3に示す。

表3 結合語基の語種（異なり語数）

結合要素の語種	語数	比率	例
外来語	116	71.2%	アットホーム・マイホーム
漢語	38	23.3%	当該ホーム・老人ホーム
和語	6	3.7%	ホーム炬燵・ホームタマネギ
混種語	3	1.8%	ダンボールホーム・ホーム最終ゲーム
合計	163	100%	

表3から、「ホーム」は様々な語種の要素と結合するが、外来語の要素と最も結合しやすく、71.2%を占めていることが分かる。ここから、外来語の造語成分はやはり外来語の要素と結合する場合が多く、それによる複合語が最も多いことが確認できる。漢語語基と結合する比率は23.3%、和語と結合する比率は3.7%、混種語と結合する比率は1.8%である。外来語造語成分と結合する語基の語種を多い順に並べると、外来語語基、漢語語基、和語語基、混種語語基となる。注目すべきは非外来語語基47例（漢語語基、和語語基、混種語語基）と結合している場合があることで、「ホーム」が日本語の中に定着している度合いが高いことを示している。

5.2 結合語基の品詞性

本節では「ホーム」の結合語基の品詞性について分析する。

水野(1987)は、漢語語基を体言類・相言類・用言類・副言類・結合類の五つに分類している。語基の品詞性を観察するため、表4の水野(1987)の品詞類の基準に従って、語基の品詞判断をした結果をまとめたものを表5に示す。

表4 語基の品詞性（水野（1987）を元に作成）

品詞類	特徴	例
1. 体言類	格助詞「が」を伴って文の要素となる。	近代・化学
2. 相言類	「な」を伴って連体修飾成分になる。或いは体言類・用言類・副言類に属さず「の」を伴って連体修飾成分となる。	優秀・最後
3. 用言類	「する」を伴ってサ変動詞となる。	計画・注意
4. 副言類	そのままで連用修飾成分となる。	全然・絶対
5. 結合類	四つの類のどれにも当てはまらず、必ず接辞等と結合して用いられる。	積極・合理

表5 結合語基の品詞性

結合語基の品詞性	異なり語数	比率	例
体言類	116	71.2%	ホームドラマ・老人ホーム
用言類	24	14.7%	ホームショッピング・ホームスチール
相言類	2	1.2%	スイートホーム・大規模ホーム
結合類	21	12.9%	アットホーム・マイホーム
合計	163	100%	

表5から分かるように、結合語基の品詞類は多様であり、体言類、用言類、相言類、結合類に分けられる。体言類が圧倒的に高い数値を示しており、「ホーム」は名詞に最も付きやすいことが分かる。次いで用言類、結合類にも付く例が多く見られる。一方で相言類につく例は少なく、2例しかないことが分かる。

また、英語では、「ホーム」は自立形式の名詞である。「ホーム」が構成する合成語の品詞性は基本的に体言類であるが、「アットホーム」が例外として、相言類の品詞性で使われる。

5.3 「ホーム」の結合位置

本節では「ホーム」の結合位置について分析する。造語成分「ホーム」が他の語基と結合し合成語を構成する際に、その前項になるか後項になるかという点に注目する。結合位置を調査した結果を表6に示す。

表6 外来語造語成分「ホーム」の結合位置

結合位置	語数	比率
前項	124	76.1%
後項	39	23.9%
合計	163	100%

表6を見ると、「ホーム」は複合語の前項になることが多いが、複合語の後項に位置することもあることが分かる。「ホーム」の外国原語「home」は名詞であり、「ホーム」が前に位置する場合には、後項の語基に修飾限定の機能を発揮し、後ろに他の被修飾語を要求するような機能がある。それに対し、「ホーム」が後ろに位置する場合には、「ホーム」の名詞性が働いた結果、その前に

様々な語を受けるため、被修飾の後項要素になると思われる。従って、「ホーム」が日本語に入った後も、その二つの用法がともに造語機能を発揮し、その結果、複合語の前項にも後項にも位置することになったと思われる。「ホーム」は合成語の前項にばかりなるとは限らず、後項にも来るという点が、造語する際に非常に便利かつ自由な造語成分といえる。

5.4 和製英語

外来語造語成分「ホーム」は様々な語基につき、和製英語を構成することができる。和製英語は日本で作られた英語であるため、外来語の日本語化にとって重要な指標であると思われる。そこで本節では、「ホーム」が構成する和製英語に注目する。和製英語であるか否かは、『和製英語事典』、『基本外来語辞典』に従って判断した。収集した29例を以下の表7に示す。

表7 和製英語

和製英語	本来の英語	意味	
アットホーム	at home	cozy	家
デイホーム	day home	day-care center	収容施設
バックホーム	back home	Throw to the plate	本塁
ホームイン	home in	cross home	本塁
ホームウェア	home wear	clothes worn at home	家
ホームコメディ	home comedy	family comedy	家
ホームシック	homesick	homesickness	家・故郷
ホームスチール	home steal	stealing home	本塁
ホームステイ	home stay	stay at your home	家
ホームセキュリティ	home security	security system	家
ホームセンター	home center	a DIY store	家
ホームソーイング	home sewing	sewing at home	家
ホームソング	home song	sing a song at home	家
ホームテレフォン	home telephone	extension phone	家
ホームドクター	home doctor	family doctor	家
ホームドラマ	home drama	soap opera	家
ホームドレス	home dress	plain dress for everyday wear	家

和製英語		本来の英語	意味
ホームトレード	home trade	domestic home	家
ホームバー	home bar	a cocktail bar at home	家
ホームバンキング	home banking	online banking	家
ホームパーティー	home party	a party at home	家
ホームビジット	home visit	domiciliary visit by a doctor	家
ホームヘルパー	home helper	a home-care worker	家
ホームヘルプ	home help	home care	家
ホームベーカリー	home bakery	home machine	家
ホームページ	home page	website/webpage	スタート位置
ホームユース	home use	household	家
ホームロイヤー	home lawyer	family lawyer	家
マイホーム	my home	my own house	家

表7を見ると、合成語には163例があり、その中で和製英語は29例ある。「ホーム」の生産力は高く、数多く和製英語が作られる。表7に示す和製英語の「ホーム」の意味で最も多いのは、〈家・家庭〉で25例あり、次が〈本屋〉で2例であり、IT用語〈スタート位置〉と〈収容施設〉はそれぞれ1例ある。「ホーム」には〈家〉を表す意味で和製英語を形成しやすいという傾向が見られる。

また、外来語の日本語化を見るにあたっては、定着度という指標を扱う。外来語定着度の高低にとって、複合語全体の数（造語力）、結合する語種の比率（非外来語成分とどの程度結合するか）や、和製英語数などが関係する。以上の考察を見ると、「ホーム」の合成語は和製英語が29例、5.1節で見られる非外来語語基（例：「ホーム炬燵」「老人ホーム」）が47例あり、併せて和製語は76例（46.6%）あることになる。「ホーム」が日本語として定着する際、意味用法がそのまま使用されるわけではなく、変化を伴っている。これは「ホーム」が日本語へ浸透していることを表す一面と見なすことができる。

6. 語構成と意味から見る「ホーム」の借用について

以上の語構成と意味の考察結果を踏まえ、本節では、「ホーム」が借用される際の形態変化のプロセス、またその借用要因について論じておきたい。

6.1 「ホーム」が借用する際のプロセス

村中（2014:81）は、外来語「ライク」の形態変化のプロセスを提示した。ここでは、村中（2014:81）を参照し、「ホーム」が借用する際のプロセスをA、B、Cに分けて示す（図1）。

まず、プロセスAは、「ホーム」の音声と表記のみが日本語化される段階である。英語をそのままカタカナに移し替えたような形式で表される。「ホーム」は結合形式語例が多いため、最初は結合形式で日本語に借用されたと考えられる。結合形式で借用されるということは、在来語の影響が強く、自立形式で日本語に入りにくいと考えられる。その後、日本語に馴染んでから、自立形式にもなったと推測される。

プロセスBは、「ホーム」が外来語・漢語・和語・混種語と結合し、前項要素にも後項要素にもなり、自由に合成語を多く形成する段階である。結合要素が外来語であるものに比べれば、漢語・和語・混種語であるものは、日本語化が進んだ段階にあると思われる。こうして、「ホーム」の結合要素は英語由来のものだけではなく、語彙的に日本語化したものといえる。

プロセスCは、本来の英語とは違った意味で定着した外来語が、さらに英語の形態素とは異なった形で結びつくことにより和製英語を形成する段階である。「ホーム」が多くの和製英語を作り出し、日本語化がさらに進んだ一面と見なすことができる。

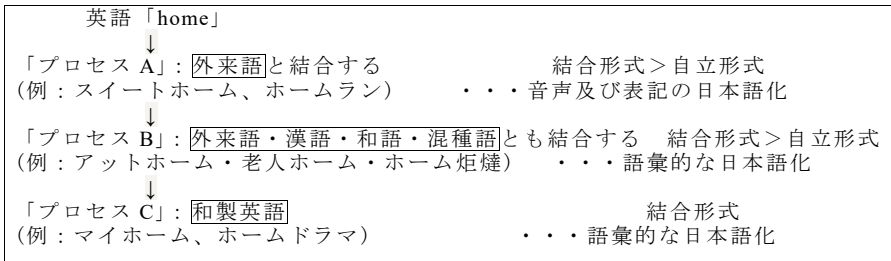


図1 「ホーム」が定着するプロセス

6.2 「ホーム」の借用要因

以上、語構成という側面から形態素の性質に注目し、「ホーム」が借用される際の形態プロセスを提示した。次に、意味の側面から借用要因を明らかにする。

まず、4 節の考察から分かる、「ホーム」の意味・使用分野を表 8 に、また「ホーム」が構成する合成語のうち出現頻度が上位 5 位までの例を表 9 に示す。

表 8 「ホーム」の意味・使用分野

意味	使用分野	比率
意味①	「社会・生活」	83
意味②	「社会・生活」	2
意味③	「スポーツ」	33
	「IT」	10
意味④	「福祉」	37
合計		163

表 8 から、「ホーム」は大きく 4 つの意味を持ち、意味①〈家〉、意味②〈故郷・本国〉、意味③〈基準位置〉、意味④〈収容施設〉の意味を表すと明確に分けられ、それぞれは、「福祉」「社会・生活」「IT 用語」「スポーツ」の分野で使われることが分かる。なお、各意味の語数を合計 165 例となるが、合計数は 163 例となっている。これは、複数の意味に跨る語はあるためである。意味①と意味②は一般的な分野であるため、意味②の 1 例が意味①に跨り、併せて 84 例である。また意味③と意味④は「スポーツ」「IT」「福祉」の分野であるため、専門用語と考えられ、意味②の 1 例が意味③に跨り、併せて 79 例となる。

表 9 出現頻度による上位 5 語

語例	出現頻度	意味
ホームページ	4692	意味③「IT」
老人ホーム	809	意味④「福祉」
ホームラン	591	意味③「スポーツ」
ホームセンター	396	意味①「社会生活」
ホーム（自立形式）	380	意味①②③④

表 9 から、出現回数の多い語を順番に並べると、「ホームページ」、「老人ホーム」「ホームラン」「ホームセンター」「ホーム」となると分かった。上位 3 語

は「IT」「福祉」「スポーツ」で多く使われ、これは専門用語として多く使われるといえる。自立形式「ホーム」の意味もほとんど専門用語に集中している。

「ホーム」の借用要因は以下のように考えられる。

第一に、新しい事物や現象が生まれ、また専門技術が発達する一方で、それに対応する語が日本語の語彙体系の中に存在しないためである。そのため、「ホーム」は新たな専門用語の分野で借用される。具体的には、「ホーム」は独自の意味用法を持ち、在来語「家・家庭」が持たない意味用法を担うことから、「ホームページ」「老人ホーム」「ホームラン」のような社会福祉・IT・スポーツなどの専門分野で多く使われる。「ホーム」は既存の「家・家庭」という在来語と置き換えられるのではなく、併存している。また、「ホームベース」「老人ホーム」などのように、専門用語として多く使われた結果、自立形式を取るという傾向が見られる。

第二に、「ホーム」が造語力を持っており、生産力が高いことが挙げられる。「ホーム」は英語原語では名詞であり、合成語の前項にも後項にも来るという点から、造語する際、非常に便利かつ自由な造語成分であると考えられる。

7. おわりに

本稿では、外来語造語成分「ホーム」を分析対象として、その語構成的な性質や意味のあり方を調査し、またそのあり方は外来語造語成分の借用要因とどのように関わっているのかを考察した。結論は以下のようにまとめられる。

- (22) 語構成の性質について、「ホーム」は意味によって、自立形式になる場合と、ならない場合がある。「ホーム」は様々な語種、品詞性の要素と結合し、造語力が高い。和製英語も多く作れるため、日本語に深く浸透しているといえる。「ホーム」の結合位置は合成語の前項にも後項にも来ることから、造語する際、非常に便利かつ自由な造語成分である。最後に、語構成的な性質による、借用する際の形態プロセスを提示した。
- (23) 意味の面から見れば、外来語造語成分「ホーム」は英語から日本語に取り入れられる際、意味が縮小する傾向が見られる。「ホーム」は4つの意味に分けられ、「福祉」「社会・生活」「IT用語」「スポーツ」の分野で使われている。また、合成語を構成する際、単独の造語成分「ホーム」にない独自の意味も生まれた。

(24) 借用要因について、外来語造語成分「ホーム」は既存の和語あるいは漢語と意味的に競合しながら、合成語の構成要素になった場合に独自の役割を担う。

本来原語では自立形式の形態素であるものの、外来語として取り入れられると拘束形式になる外来語造語成分としては、他に「カー(car)」「ゴールデン(golden)」がある。しかし、必ずしも均質ではなく、その中にも様々な特質を有するものが存在する。従って、多くの事例研究を重ねていく必要がある。それを今後の課題としたい。

調査資料

『基本外来語辞典』(1990) 東京堂出版

『研究社新和英大辞典第五版』(1980) 研究社

『日本国語大辞典第二版』(2001) 小学館

『和製英語事典』(2014) 丸善出版

国立国語研究所『現代日本語書き言葉均衡コーパス』(BCCWJ)

https://www.ninjal.ac.jp/corpus_center/bccwj/ (2022年12月26日確認)

参考文献

斎藤倫明(2004)『語彙論的語構成論』ひつじ書房

斎藤倫明(2016)『語構成の文法的側面についての研究』ひつじ研究叢書(言語編)第139巻

阪倉篤義(1966)『語構成の研究』角川書店

中川秀太(2010)「字音形態素『新』の造語機能」『漢語の言語学』くろしお出版 pp.141-158

野村雅昭(1978)「接辞性字音語基の性格」『電子計算機による国語研究』9 国立国語研究所, pp.102-138

野村雅昭(1998)「結合専用形態の複合字音語基」『早稲田大学日本語研究教育センター紀要』11, pp.149-162

水野義道(1987)「漢語系接辞の機能」『日本語学』第6巻第2号, pp.60-69

村中淑子(2012)「接尾辞「チック」について: CD-毎日新聞(1991-2005)およびBCCWJを用いて」『国際文化論集』45, pp.115-144, 桃山学院大学総合研究所

村中淑子(2014)「外来語接尾辞「ライク」(橋内武教授退任記念号)」『国際文化論集 = Intercultural studies』49, pp.67-88, 桃山学院大学総合研究所

- 山下喜代 (2008) 「現代日本語の語構成要素—和語を中心にして」『青山学院大学文学部紀要』49 青山学院大学日本文学会 ,pp.141-158
- 山下喜代 (2011) 「字音接尾辞「式・風・的」の意味 —プロトタイプとスキーマ—」『青山語文』41 青山学院大学日本文学会 ,pp.130-142
- 林慧君 (2013) 『現代日本語造語の諸相』日本語学研究業書 6 國立臺灣大學出版中心
- 林慧君 (2015) 「日本語における外来語の類義接頭辞 —「ミニー」と「プチャー」の場合—」齋藤倫明・石井正彦 (編) 『日本語語彙へのアプローチ—形態・統語・計算・歴史・対照—』 pp.27-43, おうふう
- Hamlitsch Nathan Jesse (2020) 「日本語借用拘束形態素に関する認知言語学的研究—フレーム意味論および構文形態論の観点から—」名古屋大学博士学位論文

从语构成和语义的角度探讨外来语的借用形态 ——以外来语词素“ホーム(home)”为例——

王 雨

日语中的外来语词素不仅作为一个单词可以独立使用(自由形式),还可以作为单词的构词要素结合使用(结合形式)。本论文参照林慧君(2013)中关于“外来语造语成分(外来语词素)”的定义,即“外来语造语成分不是广义上所说的构词要素,而是狭义的指原本独立使用的英语词汇在借用到日语后反而不能独立使用,必须和其他构词要素相结合形成新的合成语的类型”。在先行研究中,着眼于和语、汉语语种的词素研究有很多,但对外来语词素的研究却非常少。因此,本论文以外来词素“ホーム(home)”为例,从“ホーム(home)”的结合要素的语种、词性、结合位置等的语构成和语义的关联性来考察外来语词素的借用现象。经考察得出以下结论。

1. 从语构成的性质来看,(1)“ホーム(home)”可以和外来语、汉语、和语、混种语等不同语种,以及体言、相言、用言、结合类等不同词性的要素相结合。(2)“ホーム(home)”在合成语的前项和后项都可以出现,但主要出现在前项。值得注意的是,“ホーム(home)”虽多用于结合形式,但也可以作为自立形式独立使用,因此“ホーム(home)”并非专用于结合形式的词素。
2. 从词义来看,(1)“ホーム(home)”可以分为①家庭、家族等生活的场所②发祥地、故乡、本国③基准位置④收容所、养老院这四种语义,涉及“社会生活”“IT”“体育”“福祉”四种不同的专门领域。(2)“ホーム(home)”从英语借用到日语后,继承了英语中最常用的一部分语义的同时,形容词、动词、副词中的部分语义有所欠缺,因此语义有缩小的倾向。(3)“ホーム(home)”在继承原有语义的基础上,与其他的外来语词素相结合,还形成了日本特有的和制外来语。
3. 通过以上对语构成和语义的考察,“ホーム(home)”的借用主要是因为在日本伴随着新的设施(比如养老院)的产生、体育运动和互联网的发展,对于这些新事物日语中没有相对应的专有名词。因此,具有灵活造词能力的外来语“ホーム(home)”被借用到了日语中。

综上所述,外来语词素“ホーム(home)”与其语义相近的日语中既有词汇相比,具有突出新事物和新概念的特点,填补了日语词汇的空缺。